



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年10月25日

上場取引所 東

上場会社名 ヤスハラケミカル株式会社  
 コード番号 4957 URL <http://www.yschem.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 安原 禎二  
 (氏名) 青山 勝則  
 配当支払開始予定日

TEL 0847-45-3530  
 平成25年11月29日

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	5,631	1.3	193	46.0	238	121.6	162	—
25年3月期第2四半期	5,559	△13.1	132	△86.7	107	△88.9	△26	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	15.86	—
25年3月期第2四半期	△2.53	—

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	21,281	78.8	16,771	78.8		
25年3月期	22,393	74.4	16,661	74.4		

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 16,771百万円 25年3月期 16,661百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
25年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
26年3月期	—	6.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,825	7.1	388	94.3	396	46.8	246	177.9	24.03

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	10,839,663 株	25年3月期	10,839,663 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	564,152 株	25年3月期	564,111 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	10,275,518 株	25年3月期2Q	10,275,606 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第2四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策への期待感から円高の是正や株価の回復など一部に明るい兆しがみられました。しかしながら欧州債務問題の長期化に対する不安感や、新興国の成長鈍化への懸念などから先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社が関係しております粘着・接着・香料・電子材料・ラミネート業界におきましても、国内需要の低迷、原材料高や企業間における価格競争の激化等、大変厳しい状況が続いております。

このような経済情勢のなかで、当社といたしましては、国内外の新規市場並びに新規顧客の開拓、既存取引先との関係強化を積極的に推進し販売の拡大に努力する一方、全社にわたり生産効率のアップ、業務の効率化を実施し、収益の確保に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間における業績は、売上高5,631百万円(前年同四半期比101.3%)、経常利益は238百万円(前年同四半期比221.6%)、四半期純利益は162百万円(前年同四半期は26百万円の損失)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における総資産は21,281百万円となり前事業年度末に比べ1,112百万円の減少となりました。その主な要因は、現金及び預金538百万円、役員保険積立金95百万円増加等ありましたが、売掛金232百万円、製品370百万円、仕掛品107百万円、原材料及び貯蔵品494百万円、前渡金304百万円、未収還付法人税等297百万円等それぞれ減少したためであります。

負債は、4,509百万円となり前事業年度末に比べ1,221百万円の減少となりました。その主な要因は、未払金68百万円、未払消費税40百万円、未払法人税等117百万円増加等ありましたが、買掛金58百万円、短期借入金1,402百万円等それぞれ減少したためであります。

純資産は16,771百万円となり前事業年度末に比べ109百万円の増加となりました。その主な要因は、利益剰余金101百万円増加等あったためであります。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末の現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は1,706百万円となり、前事業年度末に比べ509百万円の増加となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは2,170百万円の収入となり、前年同四半期に比べ2,271百万円の増加となりました。その主な要因は、売上債権の増減額194百万円の減少、前渡金の増減額388百万円の減少等ありましたが、税引前四半期純利益234百万円の増加、たな卸資産の増減額2,107百万円の増加等あったこと及び、法人税等の支払額が前年同四半期は441百万円ありましたが、当四半期は297百万円の還付であったことが要因であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは188百万円の支出となり、前年同四半期に比べ192百万円の増加となりました。その主な要因は、有形固定資産の取得による支出111百万円増加等あったことが要因であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは1,475百万円の支出となり、前年同四半期に比べ1,649百万円の減少となりました。その主な要因は、短期借入金の純増減額1,600百万円減少等あったことが要因であります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期累計期間における業績は、売上高はほぼ予想どおりに推移しておりますが、四半期純利益につきましては当初の予想を上回っております。しかしながら、今後の原材料価格や為替の動向など不確定な要素に基づく影響が大きいものと予想され、今後の業績予測は困難であることから、平成25年4月26日公表の通期の業績予想から変更はいたしておりません。

なお、今後の見通しにつきましては、現在精査中であり、見通しが立ち次第速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,468,023	2,006,527
売掛金	2,219,650	1,986,779
製品	1,969,878	1,599,660
仕掛品	1,056,712	948,850
原材料及び貯蔵品	7,924,660	7,430,563
繰延税金資産	48,428	75,669
未収還付法人税等	297,738	—
その他	396,026	151,732
貸倒引当金	△2,219	△1,986
流動資産合計	15,378,898	14,197,797
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	907,302	877,935
機械及び装置(純額)	725,464	690,179
土地	3,669,705	3,669,705
その他(純額)	654,146	691,688
有形固定資産合計	5,956,618	5,929,508
無形固定資産		
投資その他の資産	203,534	178,966
投資有価証券	688,548	705,637
繰延税金資産	112,725	124,138
その他	65,713	157,848
貸倒引当金	△12,857	△12,857
投資その他の資産合計	854,130	974,766
固定資産合計	7,014,283	7,083,242
資産合計	22,393,182	21,281,039
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	463,049	404,543
短期借入金	4,126,400	2,723,900
未払法人税等	8,105	125,666
賞与引当金	104,572	106,513
その他	422,741	508,405
流動負債合計	5,124,868	3,869,029
固定負債		
長期借入金	27,900	17,200
退職給付引当金	178,385	212,803
役員退職慰労引当金	399,693	410,220
その他	450	450
固定負債合計	606,428	640,673
負債合計	5,731,297	4,509,703

(単位:千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,789,567	1,789,567
資本剰余金	1,729,013	1,729,013
利益剰余金	13,366,884	13,468,166
自己株式	△391,246	△391,276
株主資本合計	16,494,218	16,595,471
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	167,666	175,864
評価・換算差額等合計	167,666	175,864
純資産合計	16,661,885	16,771,336
負債純資産合計	22,393,182	21,281,039

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	5,559,351	5,631,274
売上原価	4,598,633	4,651,040
売上総利益	960,717	980,234
販売費及び一般管理費	828,468	787,212
営業利益	132,249	193,021
営業外収益		
受取利息	653	699
受取配当金	8,128	7,742
為替差益	—	14,277
その他	14,554	33,613
営業外収益合計	23,336	56,333
営業外費用		
支払利息	13,482	8,388
手形売却損	2,448	2,369
為替差損	31,692	—
その他	374	223
営業外費用合計	47,998	10,981
経常利益	107,586	238,373
特別損失		
固定資産処分損	879	1,302
投資有価証券評価損	79,314	—
減損損失	24,491	—
特別損失合計	104,686	1,302
税引前四半期純利益	2,900	237,070
法人税、住民税及び事業税	6,778	117,277
法人税等調整額	22,122	△43,142
法人税等合計	28,901	74,135
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△26,000	162,935



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	2,900	237,070
減価償却費	240,668	241,790
減損損失	24,491	—
受取利息及び受取配当金	△8,782	△8,442
支払利息	13,482	8,388
為替差損益(△は益)	△2,427	△3,004
投資有価証券評価損益(△は益)	79,314	—
売上債権の増減額(△は増加)	426,916	232,871
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,135,469	972,176
前渡金の増減額(△は増加)	693,203	304,262
仕入債務の増減額(△は減少)	△80,518	△58,505
その他	93,970	△50,420
小計	347,750	1,876,186
利息及び配当金の受取額	8,696	8,605
利息の支払額	△16,040	△8,458
法人税等の支払額	△441,831	△3,825
法人税等の還付額	—	297,738
営業活動によるキャッシュ・フロー	△101,425	2,170,244
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△271,080	△300,132
定期預金の払戻による収入	101,542	271,080
有形固定資産の取得による支出	△261,827	△150,259
有形固定資産の売却による収入	12,706	—
無形固定資産の取得による支出	△9,038	△4,375
投資有価証券の取得による支出	△2,924	△4,402
投資有価証券の売却による収入	50,000	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△380,622	△188,089
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	200,000	△1,400,000
長期借入れによる収入	50,000	—
長期借入金の返済による支出	△15,000	△13,200
自己株式の取得による支出	△167	△29
配当金の支払額	△61,374	△62,479
財務活動によるキャッシュ・フロー	173,458	△1,475,708
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,427	3,004
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△306,161	509,451
現金及び現金同等物の期首残高	1,651,757	1,196,942
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,345,595	1,706,394

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。